

## 日本の海岸線を歩く会 歩行報告書

報告者 松本美和

## 1. 概要

歩行名称にはブロック名（会則に記載）と概略歩行区間を記載する

歩行名称	山陰
歩行区間詳細	スタート地点:舞鶴市大波下(若浦中学バス停)
	ゴール地点:丹後鉄道宮豊線小天橋駅(旧丹後神野駅)
実施期間	2016. 10. 11~10. 14
全歩行距離	145Km

## 2. メンバー表

No.	役割・分担	氏名	年齢	歩行日数	備考
1	リーダー	篠崎次郎	78	4日間	
2		斎藤篤二	77	4日間	
3		森 正明	75	4日間	
4		松田治男	65	4日間	
5	会計	松本明子	67	4日間	
6	記録	松本美和	51	4日間	

## 3. 歩行の概要

	月日	出発地 ~ 到着地	歩行距離	歩行参加者	備考
1-1 班	10.11	若浦中学~舞鶴長浜簡易郵便局	10km	篠崎次郎、森正明	1 泊目:宮津市 ペンション 「マリンハウス」
1-2 班	同上	舞鶴長浜簡易郵便局~和江神社	13km	松田治男、松本美和	
1-3 班	同上	和江神社~脇公民館	10km	斎藤篤二、松本明子	
2-1 班	10.12	脇公民館~天橋立	23km	篠崎、松田、松本み	2 泊目:伊根町 「しばた荘」
2-2 班	同上	天橋立~新井(にい)	23km	斎藤、森、松本あ	
3-1 班	10.13	新井(にい)~中浜	23km	斎藤、森、松本み	3 泊目:京丹後市 「まつつる」
3-2 班	同上	中浜~丹後ふるさと病院	*23m	篠崎、松田、松本あ	
4-1 班	10.14	丹後ふるさと病院~浜詰	12km	篠崎、森、斎藤	
4-2 班	同上	浜詰~小天橋駅	8km	松田、松本あ、松本み	

## 4. 参加費

参加者延べ日数 6人 × 4日

参加費合計 2,400円

かかった費用（自宅~現地、昼食2回を除く、一人当たり）

宿泊費（3泊） 36,752円

交通費（レンタカー、ガソリン） 7,695円

その他（タクシー、駐車場、観光 他） 2,173円

計 46,620円

## 5. 歩行の詳細

\*1日目 10月11日(火)\*

1班(篠崎次郎、森正明) 若浦中学～舞鶴長浜簡易郵便局 歩行距離 約10km

特急まいづる3号にて東舞鶴を定刻に下車、タクシーで出発点近くにある舞鶴引揚記念館(撮影:森)へ。13年間で65万人強の引揚者が、ロシア、中国から帰国している。「印象にのこったのは岸壁の母だった。穏やかな、何か思いを込めた顔、何年もこの岸壁で待っていた姿が目に残った。」(篠崎)「ウズベキスタンの首都タシケントが大地震にみまわれ大きな被害が出た際、抑留日本人たちが建設した国立劇場は被害がなく、その仕事ぶりが賞賛されてという逸話も紹介されていた。ウズベキスタンを歩いたとき立ち寄った日本人墓地の風景を思い出した。そこに葬られた人たちは、どれほど日本に、舞鶴に、そして生まれ故郷に帰りたいかであったことであろう。」(森)

記念館を1時に出発し、本日の歩行が始まった。県道21号から27号に入り、板ガラス工場の前を通り、そして自衛隊の前を通り、和田集落の郵便局に3時40分着。ここで本日の歩行を終え帰りの車を待ち16時30分宿へ。



2班(松田治男、松本美和) 舞鶴長浜簡易郵便局～和江神社 歩行距離 約13km

2班と3班は東舞鶴の一つ手前、西舞鶴にて下車。レンタカーを借り、出発点の長浜郵便局まで送ってもらう。12:45歩行開始。13:45に舞鶴国際ふ頭あたりで休憩し舞鶴市内を歩行。14:25には美味しそうな魚が満載の「とれとれ市場(撮影:松本)」の串焼きで休憩。国道沿いに下福井、念仏峠を歩行し15:15にゴールの和江のドライブインに到着。15:40にレンタカーで舞鶴長浜簡易郵便局に戻り1班をピックアップ、さらに脇公民館で3班をピックアップして、本日の宿 ペンション「マリンハウス」(由良浜)に到着。



3班(斎藤篤二、松本明子)和江神社～脇公民館 歩行距離 約10km

レンタカーは予定していた和江神社が利用できなかったが、近くの「ドライブインだるま」のご厚意で無事に駐車することができ、13:30に歩行スタート。14:20石浦にて村おこしのためオリーブを植えている由良オリーブ園でオリーブ搾油を見学。由良海岸をへて16:45に脇公民館に到着。レンタカーを待つ。

本日のお宿 ペンション「マリンハウス」(撮影:森&松本み)



湯らゆら温泉郷で若夫婦が切り盛りするアットホームな宿。採れたて海鮮と創作イタリアンが美味。2歳の小次郎くんの笑顔のおもてなしがかわいい♪ 部屋は洋室(ベッド)でお風呂は温泉、朝食は和食と洋食から選べる。蟹シーズン(11月～)も良心的な価格設定。



\*2日目 10月12日(水)\*

1班(篠崎、松田、松本み)脇公民館～天橋立 歩行 約23km



8:25 脇公民館から歩行開始。9:15～9:40 小田宿野にて「飯尾醸造」の製造工場を見学する。時間と手間暇をかけて仕込まれる酢の蔵はまるで小さな酒蔵のようで香りもまろやかだった(撮影:松本)。越浜(おっぱま)の海洋センターを過ぎ、岸壁の続く道を経て500～600メートルの峠を越え、11:20 田井の砂浜で休憩。対岸に天橋立が見えてくる。11:50 府立青少年海洋センター「マリンピア」にて昼食。13:30 獅子崎の「雪舟観展望所」入口にて休憩。山上は雪舟が天橋立を描いたといわれる場所。宮津湾に沿って歩き、ようやく天橋立に到着。曇っていたけれどリフトで上って天橋立を見学。男性陣はレンタカーにて岩滝経由で、好奇心旺盛な松本は天橋立を走って渡り伊勢籠神社で合流。伊根では先発隊おすすめの舟屋カフェで仙人のような店主の指南に従い本格的な台湾茶(烏龍茶)を独特な作法で堪能(撮影:松本)。16:30 新井で2班をピックアップ、泊港にある本日の宿「しばた荘」に到着。



2班(斎藤、森、松本あ)天橋立～新井(にい) 歩行 約23km

9:00 天橋立智恩寺の駐車場にレンタカーを駐車、まずはリフトで飛竜観に上がり、晴れ渡った空と青い海、天橋立の絶景を楽しむ。股覗きの研究で日本人が「イグノーベル賞」を受賞したというニュースも記憶に新しい。左右に海を眺めながら松林の続く天橋立(約4km)を歩く。10:30 江尻を通過、11:30 日置にて昼食。15:00 舟屋(撮影:森)で知られる伊根に到着。舟屋を改装した台湾茶専門店「青竈」で休憩。不愛想ながら台湾茶の味わい方にはとことんこだわる亭主のいうままにグラスに注ぎ、残り香を楽しむというなんとも不思議なひとときを過ごした。そのあとはクマが出るかもしれないと脅かされた山道へ。天候も下り坂で疲労感も漂う中、3人がてんでにクマよけの歌を歌いながらゴールを目指す。16:45 新井バス停に到着、1班を待つ。



本日のお宿 漁師の宿「しばた荘」(撮影:しばた荘さん)



改装したばかりで清潔感があり、ここも元気な2代目のいる気持ちの良い宿。漁師の宿だけあって船盛は圧巻!夕食時に一緒に食べたご夫婦は宿の常連さん。明日の駐車場「ふるさと病院」に月一で勤務するため神戸から通っている眼科医とお聞きして、不思議なご縁を感じ会話も弾んだ。





\*3日目 10月12日(水)\*

1班 (斎藤、森、松本み)新井(にい)～中浜 歩行約23km



近くにコンビニがないので宿に手配してもらったお弁当を背負って、8:45に新井から歩行開始。経ヶ岬に向かって歩いていると、なにやら海の中を泳いでいる！よく見ると、なんとイノシシ！！上陸しようとしているけれど高く登れず、必死の泳ぎに声援を送る。ぐるぐる泳ぎ回ったあと、ようやくスロープの方から上陸。疲れ切った様子で、ぐったり横たわっていた。このあたりはイノシシのほかにもサルやクマが出るらしく、道路の上にさまざまな足跡を見つけた。かなり多いので、群れで畑の作物を荒らしていくのだろう。9.30に津母トンネル、10.50に浦島神社を通過し、12.00 浦入展望台にて昼食。レーダーの建設工事現場で出会ったガードマンの腰には、クマよけの鈴が揺れていた。野生の動物と、どう折り合いを付けていくか、切実な問題なのだと思ってみてつくづく思う。立派なゴボウを披露してくれた男性は80過ぎとのこと。腰がシャキッと伸びたお元気な様子に、歩き旅の私たちもまだまだこれからだなぁ♪と足が軽くなる。この日も天候に恵まれて、15.20にゴールの中浜駐車場に到着。16.00 丹後ふるさと病院で2班をピックアップして宿に向かう。(撮影:すべて森)

2班 (篠崎、松田、松本あ)中浜～丹後ふるさと病院 歩行約23km

新井で1班を降ろし、9:00に中浜漁港の駐車場より歩行開始。犬ヶ崎トンネルまではややのぼりが続く。トンネルを抜けると海側は絶壁が多く眺めは良く、屏風岩などを見ながら歩く。平の「和み庵 空と海」の入り口で休憩。11:30 竹野の道の駅「てんきてんき」にて昼食。この辺りは古墳が多い。大きな球形の山は近くまで行くとやはり古墳だった。間人、砂方、を通、三津の集落には機屋があり見学させてもらう。年配の夫婦が2台の機械を動かしていた。昔は100軒ほどが丹後縮緬を織っていたが、今は30軒程度。「老後の楽しみでやっている」と西陣帯を織っていた。15:30宿を通過するので荷物を預けてゴールに向かい、16:00 丹後ふるさと病院に到着。夕食前に鳴き砂で有名な琴引海岸を散策。

本日のお宿 オーベルジュ「まつつる」(撮影:松本み)



どのサイトを見ても料理の評価がダントツに高く決めた宿。若きオーナーシェフ渾身の料理に大満足。おまけに無加水・無加温・源泉かけ流しの温泉が私たちだけの貸切状態！期待をはるかに上回った美食の湯宿。



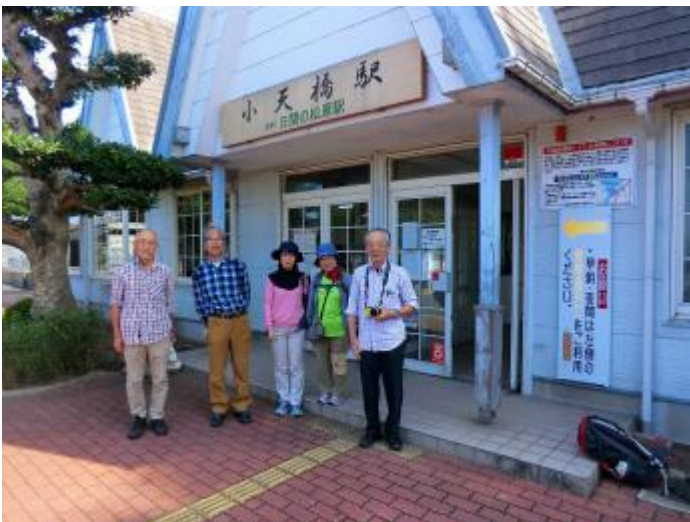
\* 4 日目 10 月 12 日(水) \*

1 班 (篠崎、森、斎藤) 丹後ふるさと病院～浜詰 約 12km

今日はふるさと病院からのスタート 8 時 45 分 歩いて間もなく右折し海岸線に行くべきだったがうっかり 178 号線を進んでしまった。網野駅が見えて間違えたことに気づいたが、そのまま 178 号を進んで 11:15 に浜詰の駐車場に到着する。小天橋駅で 2 班と合流。道の駅では、イノシシのカレーがあった。豊岡駅でレンタカーを返却し、JR で帰路につく。

2 班 (松田、松本あ、松本み) 浜詰～小天橋駅 約 8km

8:45 宿を出発、1 班を「丹後ふるさと病院」に送り届けて 9:25 に夕日公園駐車場より出発する。のどかな道をしばらく進んで間違いに気づき、保育園の先生に道を聞いて海岸線に戻る。10:30、サツマイモ収穫を眺めながら「久美浜衛生センター」で休憩する。このあたり、「函石浜遺物包含地」で古墳時代の遺物が発掘されている。11:10 に、今回の最終地点である丹後久美浜の「小天橋駅」着に到着し 1 班と合流する。



撮影: 森